

豊岡の



探し

～みんなで“豊岡の宝”を探しましょう～



豊岡市は、平成17年4月、兵庫県の北東部に位置する1市5町(豊岡市・城崎町・竹野町・日高町・出石町・但東町)が合併してできたまちで、市内には29の地区(※)があります。

この冊子は、それぞれの地区にある、それぞれの「宝」を広報「とよおか」で掲載(H17.8.25～H19.12.25)し、紹介したものをまとめたものです。

(※)旧村の流れを引き、コミュニティとしてまとめた一定の範囲の地域

1

しがいち

市街地

(豊岡)



▲旧豊岡県庁の門

旧豊岡県庁の門(昭和52年11月、市文化財に指定)は、明治3年に当時の久美浜県の県庁建設に伴って造られたもので、翌年、豊岡県に合併された際に移築されました。高さ7.6mの総檜造りの脇戸付薬医門です。

▼達徳会館

県立豊岡高等学校には、達徳会館(平成20年3月、県重要文化財に指定)があります。建物は、明治29年に兵庫県豊岡尋常中学校本館として建設されたもので、昭和16年、同窓会館として移築されました。木造2階建て、建築面積195㎡の寄棟造瓦葺きです。



▲国道426号ロータリー

近畿の国道では唯一のロータリーがあります。ロータリーの中央には、豊岡地域の上水道の敷設に多大な貢献をされた中江種造翁の銅像があります。

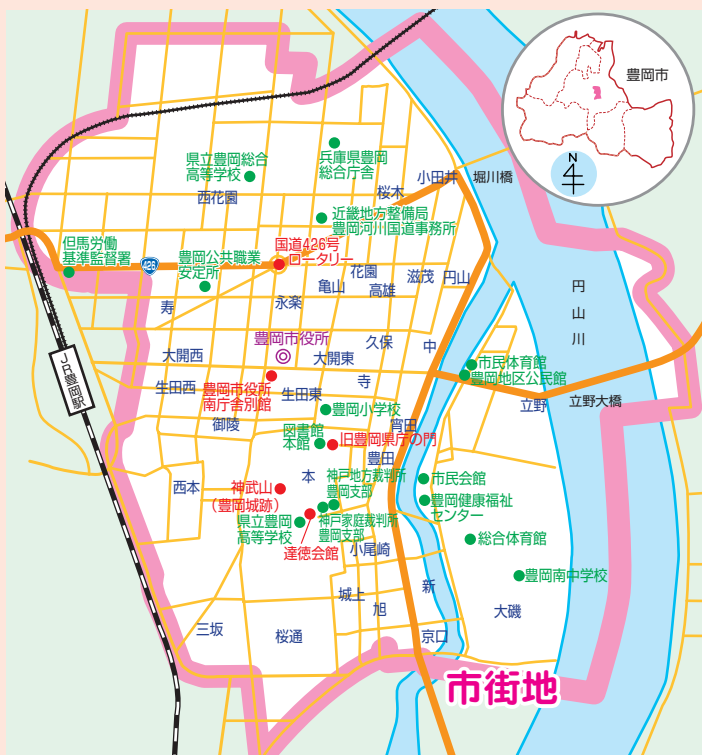


▲神武山(豊岡城跡)

天正8年(1580年)に宮部善祥房が築いたとされる豊岡城(亀城)跡がある標高50mの神武山があります。現在、公園になり、「歴史・文学のこみち」が整備され、桜の名所になっています。

▼豊岡市役所南庁舎別館

豊岡市役所南庁舎別館(平成18年12月、国登録有形文化財)は、昭和9年に昭和の名建築家・渡邊 節の設計によって兵庫県農工銀行豊岡支店として建設されたもので、鉄筋コンクリート造2階建て、建築面積495㎡です。



●地区のいわれ

市街地は、豊岡藩の城下町から豊岡町となり広がってできた地区です。地区内には、市役所をはじめ、主な公共施設があり、福祉、教育、文化、体育などの行事に地域住民が集い、また、店舗や住宅が建ち並び、市の中心になっています。

●主な公共施設

・豊岡市役所・図書館本館・豊岡健康福祉センター・豊岡地区公民館・豊岡小学校・豊岡南中学校・県立豊岡高等学校・県立豊岡総合高等学校・市民会館・市民体育館・総合体育館・兵庫県豊岡総合庁舎・神戸地方裁判所豊岡支部・神戸家庭裁判所豊岡支部・近畿地方整備局豊岡河川国道事務所・但馬労働基準監督署・豊岡公共職業安定所

●行政区

・桜通・大磯・京口・新・旭
・城上・小尾崎・豊田・三坂
・本・西本・菅田・寺・生田東
・御陵・生田西・立野・中
・大開東・大開西・亀山・滋茂
・久保・高雄・永楽・円山・花園
・西花園・寿・桜木・小田井

市街地

●行政区数 31区
●人口 10,266人
男 性 4,729人
女 性 5,537人
●世帯数 4,155世帯
(平成20年3月1日現在)

2

はちじょう

八条地区

(豊岡)



▲雷神社本殿

明暦2年(1656年)に再建された棟札のある雷神社があります(本殿は昭和40年3月、県重要文化財に指定)。本殿は五箇社切妻造の檜皮葺で、細部の作りに江戸初期の特色が見られます。また、毎年4月29日には、境内で五穀豊穡を祈願する御田植祭(平成8年9月、市無形民俗文化財に指定)が行われています。

▼小便地蔵

寝小便を治してもらえるという言い伝えのある小便地蔵があります。この地蔵は但馬六十六地蔵尊の第53番で、高さ約90cm。このほか、堂の中には子地蔵が3体あります。



▲豊岡鞆団地

昭和43年11月に設立された全国唯一の鞆関連企業の集合した工業団地があります。正式名称は協同組合豊岡鞆工業センターといい、総面積約32,000㎡、事業所数16社、従業員総数約350人で、各社ともオリジナル商品の開発・研究を進めています。



▲県立但馬文教府

昭和38年11月に建てられた県立但馬文教府があります。芸術・文化活動や地域づくり、ボランティア活動など成熟社会における生きがいのある生活創造活動と自己実現を図るための生涯学習を支援する施設です。また、施設内には県立但馬生活科学センターがあります。

▼佐野浄水場

豊岡地域・城崎地域の給水を行う佐野浄水場があります。同浄水場は昭和52年3月に完成し、総面積約41,000㎡で、円山川および場内井戸から取水した水を浄化し、1日最大給水量約27,800㎡を供給する能力を備えています。



●地区のいわれ

八条地区は、古代の条里制の「八条」に由来しているといわれています。同地区は、円山川の左岸に位置し、教育・福祉・水道・警察・消防などの基幹施設が点在しています。また、豊岡市街地と日高地域を結ぶ国道312号などが通る交通の要衝となっており、店舗や住宅が立ち並び、市街地化が進んでいます。

●主な公共施設

・豊岡市企業部・佐野浄水場・八条小学校・八条地区公民館・豊岡市消防本部(豊岡消防署)・豊岡南警察署・養護老人ホームコスモス荘・豊岡市デイサービスセンター・特別養護老人ホームこうのとり荘・県立但馬技術大学校・県立但馬文教府・県立但馬生活科学センター

●行政区

・納屋・上佐野・佐野
・九日市上町
・九日市中町
・九日市下町
・妙楽寺・塩津・弥栄

八条地区

●行政区数 9区
●人口 5,057人
男 性 2,355人
女 性 2,702人
●世帯数 1,918世帯
(平成20年3月1日現在)

3

たづるの

田鶴野地区

(豊岡)



◀三十石船

三十石船は円山川で水運が盛んだったころ、津居山から八鹿、出石まで米俵や材木などの物資を運んでいた帆船です。現在は豊鴻丸が復元され、イベント等で活用されています。【写真提供：百合祐市さん「子どもたちに伝えたい但馬の風景100選の最優秀作品」】

▲玄武洞公園

玄武洞公園では、約160万年前の火山活動でできた美しい柱状節理（玄武洞と青龍洞は天然記念物）が見られ、平成19年5月に「日本の地質百選」にも選定されました。また、玄武岩は市の石に指定されています。

▼コウノトリ保護増殖センター

コウノトリを人工飼育により保護・増殖するために昭和40年に「コウノトリ飼育場」として開設。平成3年には、「コウノトリ保護増殖センター」に改称され、平成11年からは県立コウノトリの郷公園の附属飼育施設になっています（非公開）。飼育・繁殖ケージ11基を備えています。

▼愛宕山

鶴城跡である標高115mの愛宕山は、山頂まで遊歩道が整備されており、山頂からは田鶴野地区を流れる円山川を中心に北近畿タンゴ鉄道円山川鉄橋、豊岡大橋、郊外型店舗街など豊岡の市街地が一望できます。



●地区のいわれ

田鶴野地区は、その名称が田結庄、鶴井庄、野田庄の3つの庄園から成り立っていることに由来しているといわれています。地区内を円山川が流れ、コウノトリを育む自然環境づくりが進められています。また、豊岡トンネル、豊岡大橋の開通により、国道沿いに店舗等が建ち並び市街地化も進んでいます。

●主な公共施設

・田鶴野小学校・田鶴野地区公民館・豊岡学校給食センター・豊岡し尿処理場・豊岡市浄化センター・コウノトリ保護増殖センター

●行政区

みやじま ひと いち ふなまち
・宮島 ・一田市 ・船町
やまもと もり ごんごう し
・山本 ・森 ・金剛寺
のじょう くちつる い しもつる い
・野上 ・口鶴井 ・下鶴井
あかいし
・赤石

田鶴野地区

●行政区数 10区
●人口 2,756人
男 性 1,379人
女 性 1,377人
●世帯数 898世帯
(平成20年3月1日現在)

4

みえ

三江地区

(豊岡)



▲久久比神社

コウノトリに縁がある神社。祭神の天湯河板拳命がクグヒ（コウノトリの古称）を追い、但馬で捕らえたことにちなんでその名が付けられたといわれています。（本殿は、昭和33年5月、国重要文化財に指定）



▲県立コウノトリの郷公園・コウノトリ文化館

国の特別天然記念物・コウノトリの保護と増殖、野生復帰に取り組む拠点施設。広大な敷地の園内に、コウノトリの生態が観察できる公開ケージなどがあります。豊岡盆地の自然や文化も紹介しています。

◀大石りく遺髪塚

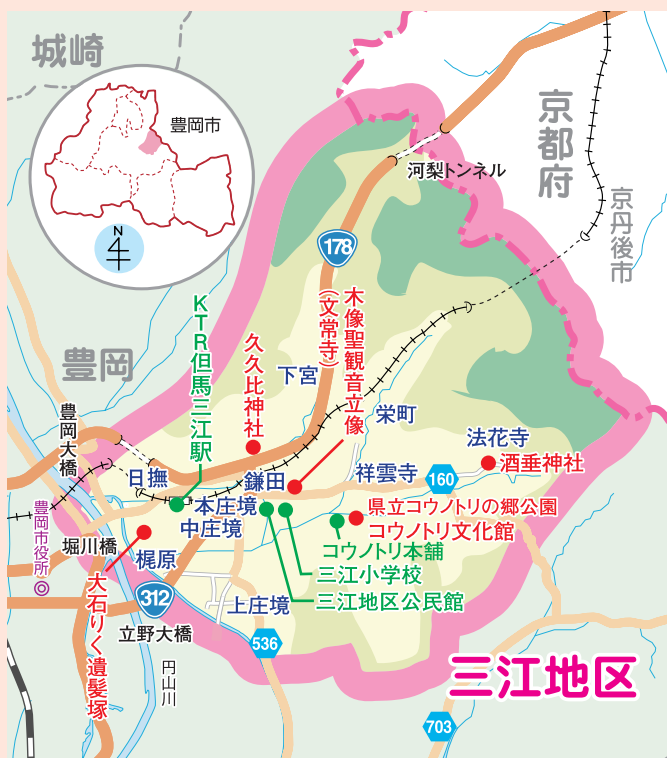
正福寺には、「忠田蔵」赤穂浪士の討ち入りで有名な大石内蔵助の妻・りくの遺髪塚があります（中央）。その両脇には、次男吉千代と長女くうの墓が建立されています（昭和52年11月、市史跡に指定）。



▲酒垂神社

酒造りの神・酒美津男命と酒美津女神をまつる式内社です。名前からも酒樽を連想させます。また、大蔵大明神ともいわれています。（本殿は、昭和33年5月、国指定重要文化財）

▶木造聖観音立像（文常寺）
文常寺には、大正元年9月に国指定重要文化財に指定された木造聖観音立像がまつられています。平安時代の特色をもった寄木造の仏像です。



●地区のいわれ

三江地区は、旧郷名である「三江郷」の名を今に引き継いでいます。同地区では、コウノトリの郷公園の開園を機に、コウノトリと共生する地域づくりに取り組まれています。農業では、コウノトリを育む農法や冬期湛水・中干し延期などを取り入れた多様な生き物を育む米作りが行われています。また、一方で、美しい景観づくりとして、里山整備や花いっぱい運動などが積極的に進められています。

●主な公共施設

・県立コウノトリの郷公園・コウノトリ文化館
・三江小学校・三江地区公民館・KTR但馬三江駅・コウノトリ本舗

●行政区

ほっけいじ
・法花寺
さかえまち
・栄町
しものみや
・下宮
なかしょうざい
・中庄境
かじわら
・梶原

しょううんじ
・祥雲寺
かまた
・鎌田
ほんしょうざい
・本庄境
かみしょうざい
・上庄境
ひ など
・日撫

三江地区

●行政区数 10区
●人口 3,845人
男 性 1,891人
女 性 1,954人
●世帯数 1,408世帯
(平成20年3月1日現在)

5

ごのしょう

五荘地区

(豊岡)



▲小江神社の大ケヤキ

小江神社の境内には、樹齢約300年の大ケヤキがあります(昭和43年3月、県重要文化財に指定)。ケヤキ近くには、「江野の岩清水」と呼ばれる湧き水があり、地元の住民はおいしい水として利用しています。

▼雅成親王の供養塔

承久の変で但馬国に配流となった後鳥羽天皇の皇子・雅成親王をまつる供養塔。また近くには、親王が居を構えたといわれる黒木御所跡の碑もあります。



▲豊岡市民プラザ

アイティ7階にある豊岡市民プラザは、環境問題やまちづくりなどのさまざまな市民活動や市民による文化創造活動、子育て支援など、市民の集う交流活動の拠点です。客席294席のほっとステージでは各種のコンサートやフォーラムなどが、交流サロンでは毎月ミニコンサートやパフォーマンスが行われています。また、市民活動室では各種講座や教室なども開催されにぎわっています。

▶小沼の滝



滝の岩肌に不動明王像が彫られています。古くは修験場として栄え、身を清めに訪れる人々が絶えなかったといわれています。

▶金剛界五仏種子板碑



室町時代、法華經一千部を納経し、供養のために建てられた板碑です。高さ181cmの自然石を利用し、正面に金剛界の五仏を表す種子が彫られています(平成元年3月、県重要文化財に指定)。



●地区のいわれ

五荘地区は、荘園時代に分けられた5つの庄があったことからこの名がついたといわれています。JR山陰本線の西側を中心に広がる同地区には、JR豊岡駅をはじめ、公立豊岡病院、学校やスポーツセンターなど市の基幹施設が点在しています。また、近年は国道178号バイパスや都市計画道路「今森高屋下陰線」の沿線に店舗や住宅が建ち並び、市街地化が著しく進んでいます。

●主な公共施設

・豊岡市民プラザ・五荘小学校・豊岡北中学校・五荘地区公民館・豊岡総合スポーツセンター・公立豊岡病院・豊岡斎場・豊岡税務署・JR豊岡駅・KTR豊岡駅・豊岡西デイサービスセンター

●行政区

・正法寺・戸牧・高屋
・駅前・上陰・中陰
・下陰・福田・栃江
・森津・滝・新堂
・岩熊・江野・伊賀谷

五荘地区

●行政区数 15区
●人口 11,965人
男 性 5,879人
女 性 6,086人
●世帯数 4,400世帯
(平成20年3月1日現在)

6

につ た

新田地区

(豊岡)



▲安川神社のムクノキ

安川神社境内には、胸高周囲6.25m、樹高34mのムクノキがあります（平成18年3月、市天然記念物に指定・新豊岡市での指定第1号）。神社のご神木としても大切にされています。



▲百合地の人工巣塔

（写真提供：県立コウノトリの郷公園・平成19年7月2日撮影）

コウノトリファンクラブにより設置されたコウノトリの人工巣塔です。コンクリート製で、高さ地上部12.5m、巣直径1.6mあります。この巣塔で放鳥コウノトリのペアが卵を産み、平成19年5月20日には国内の自然界で43年ぶりにヒナが誕生し、7月31日に46年ぶりのヒナの巣立ちがありました。

▲中谷貝塚

中谷貝塚（昭和63年3月、県重要史跡に指定）は、東西約12.5m、南北約13mに広がり、ヤマトシジミなどの貝類を中心に厚い所で約80cmも堆積しています。



▲三開山

新田地区と神美地区の境には、標高201.6mの三開山があります。一名「但馬富士」とも称され、山頂には「三開山城址（平成12年8月、市史跡に指定）」があります。また、古墳群や88カ所に石仏がまつられています。

▼六方平野

六方平野は、大型農業機械に対応するほ場の再整備が平成7年3月に完成しました。耕作面積は約465.2ha（六方・新田・中筋北部事業）で但馬一を誇ります。



●地区のいわれ

新田地区は、旧郷名である「新田郷」の名を今に引き継いでいます。同地区は、円山川の右岸に位置し、但馬一の穀倉地帯を有しています。コウノトリの舞い降りる田んぼ、コウノトリ育む農法などコウノトリと共生する農業に地区をあげて取り組んでいます。

●主な公共施設

・新田小学校・新田地区公民館・豊岡東デイサービスセンター

●行政区

いまもり	えもと
・今森	・江本
ださか	きなし
・駄坂	・木内
おおしのおか	なかのたに
・大篠岡	・中谷
こうだに	ゆるじ
・河谷	・百合地

新田地区

●行政区数	8区
●人口	3,612人
男 性	1,749人
女 性	1,863人
●世帯数	1,207世帯
(平成20年3月1日現在)	

(豐岡)



●行政区数 9区
●人口 2,096人
男 性 1,028人
女 性 1,068人
●世帯数 648世帯
(平成20年3月1日現在)



▲城崎マリンワールド

水深12mの大水槽がある体感型水族館。かわいいペンギンやイルカ、アシカのライブショー、豪快なトドのダイビングなど海の感動がいっぱいです。

▼津居山かに

津居山港に水揚げされた松葉かにを「津居山かに」と呼びます。漁場も約2時間と近く、日帰り漁が可能で味も鮮度も抜群。足に結んだ青色のタグが目印です。



▲県立円山川公苑

但馬地域唯一のスケートリンクを有し、ウインターシーズンには家族連れや若者でにぎわいます。また、春から秋にかけて、施設周辺の川や池ではカヌーやカヤックなどの体験ができます。また、世界の名画と出会える美術館では1年を通じて楽しめます。

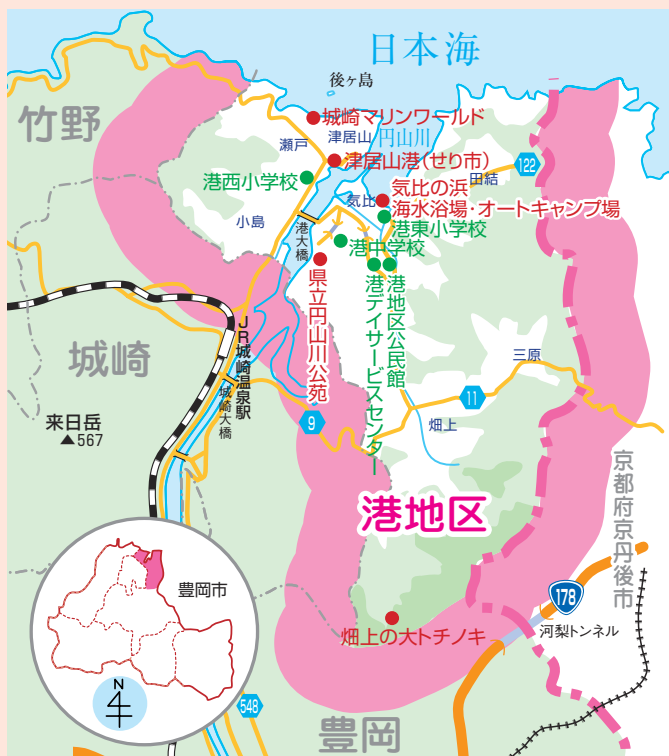


▲気比の浜

遠浅のビーチは、家族連れには安心です。城崎温泉から近く、オートキャンプ場もあり、民宿も多く、さまざまなマリンスポーツが楽しめます。

▼畑上の大トチノキ

樹高20m、幹回7.2m、樹齢300年以上。国指定天然記念物。海岸から近い距離にあり、航行の目標として重要視された巨木です。



●地区のいわれ

港地区は、津居山港の存在に由来しているといわれています。日本海につながる円山川の河口として、漁業などが盛んで、磯の香りが漂います。年間を通して、さまざまなマリンスポーツが楽しめ、多くの人々が集まります。

●主な公共施設

・港東小学校・港西小学校・港中学校・港地区公民館・港デイサービスセンター・県立円山川公苑

●行政区

おしま 小島
ついやま 津居山
たい 田結
みはら 三原
せと 瀬戸
けい 気比
はたがみ 畑上

港地区

●行政区数 7区
●人口 3,360人
男 性 1,605人
女 性 1,755人
●世帯数 1,059世帯
(平成20年3月1日現在)



▲法如上人巡教碑

西本願寺第17代法主・法如上人は、京都の六条に寺があったことから六条さんと呼ばれ、巡教の様子が歌として残っています。この歌は奈佐節として今に踊り継がれています(平成8年9月、市無形民俗文化財に指定)。また、昭和58年には福成寺区に奈佐節の歌詞の碑が建てられました。



◀野垣の木造十一面観音像

野垣の観音堂には、高さ1.72mで檜の一本作りの十一面観音像がまつられています(昭和40年3月、県重要文化財に指定)。頭上十一面も一木から彫り出されており、このような作りは珍しいとされています。



▲奈佐森林公園

大岡山のふもとと標高130~470mに位置する奈佐森林公園は、周囲を約86haの森林に囲まれています。キャンプ場、多目的広場、ローラースケート場などが整備されています。



▲白藤神社の大モミ

白藤神社の境内には、幹周り5.24m、高さ36mの大モミの巨木があります(昭和40年3月、県重要天然記念物に指定)。落雷で先端を欠いていますが樹勢もよく、樹齢は約800年と推定されています。

▼コウノトリ但馬空港

コウノトリ但馬空港は、平成6年5月に開港し、但馬地域の空の玄関口となっています。滑走路の長さは、1,200mで36人乗りのサーフ機が但馬と大阪空港を約35分で結んでいます。



●地区のいわれ

奈佐地区は、旧郷名である「奈佐郷」の名を今に引き継いでいますが、古来、船で行き来していたことなどから「なぎさ」に由来しているともいわれています。同地区は、米作りをはじめ農業が盛んで、地区では伝統行事である恒例の三世代交流そば打ち大会などが行われ、そば打ちや奈佐節などの伝統を地域ぐるみで引き継いでいます。

●主な公共施設

・奈佐小学校・奈佐地区公民館・豊岡清掃センター・奈佐森林公園・コウノトリ但馬空港

●行政区

・奥岩井・口岩井
・宮井・庄・吉井
・野垣・福成寺
・大谷・内町・辻
・船谷・目坂

奈佐地区

●行政区数 12区
●人口 1,337人
男 性 658人
女 性 679人
●世帯数 375世帯
(平成20年3月1日現在)

10

かみよし

神美地区

(豊岡)



▲三宅瓦窯跡

約1300年前(白鳳時代)に築かれた瓦を焼く窯(平成14年4月、県重要文化財に指定)。付近にあった三宅廃寺の専用窯であったと考えられています。

▼方格規矩四神鏡(森尾古墳)

森尾古墳の石室から出土した青銅製の鏡の内の1面(平成15年3月、県重要文化財に指定)。約2000年前に中国で作られたとされています。現在、森尾地区の平尾源太夫さん宅(平成20年3月、国登録有形文化財)に保管されています。



▲豊岡中核工業団地

但馬最大の工業団地です。総面積約90ha、就業者数約1,000人、出荷額は年間約300億円にのびります。

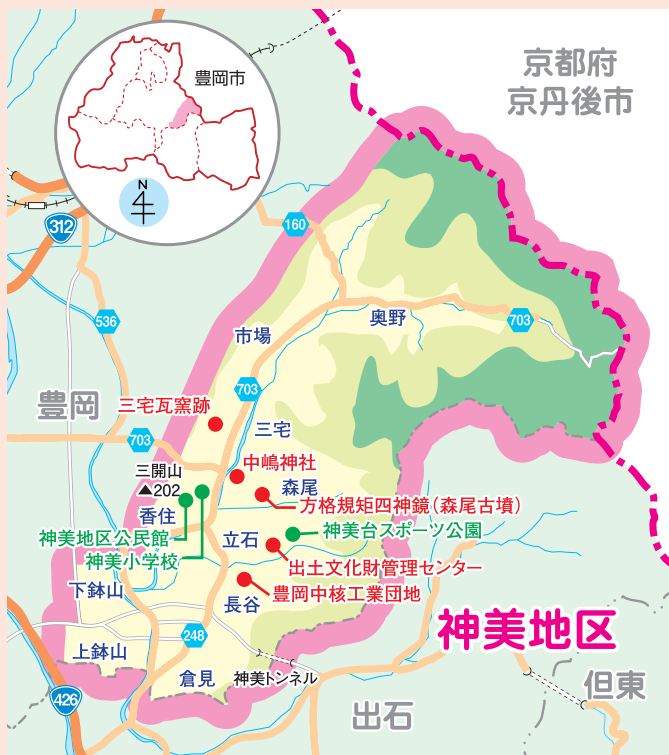


▲中嶋神社

お菓子の神様「田道間守命」をまつる、由緒ある神社(明治45年2月、本殿が国指定重要文化財)。毎年4月の菓子祭りには各地から菓子業者が訪れ、にぎわいます。

▼出土文化財管理センター

市内にある古墳などの遺跡の発掘調査や出土した文化財(遺物)の調査や研究を行っています。今までに調査した遺跡に関する各種の資料やその報告書などを数多く保管しています。



●地区のいわれ

神美地区は、旧地名である神戸庄の「神」と安美郷の「美」に由来しています。同地区には、お菓子の神様「中嶋神社」や数多くの遺物が発見された森尾古墳など多くの史跡が残っています。また、近年は、但馬最大の工業団地「豊岡中核工業団地」が整備され、市の産業発展の中核を担っています。

●主な公共施設

・神美台スポーツ公園・神美小学校・神美地区公民館・出土文化財管理センター

●行政区

おくの
・奥野
みやけ
・三宅
たていし
・立石
しもはちやま
・下鉢山
ながたに
・長谷
いちば
・市場
もりお
・森尾
かすみ
・香住
かみはちやま
・上鉢山
くらみ
・倉見

神美地区

●行政区数 10区
●人口 2,241人
男 性 1,074人
女 性 1,167人
●世帯数 734世帯
(平成20年3月1日現在)



▲来日岳

標高566.6mの秀峰です。山頂からは北に山陰海岸国立公園、南に豊岡盆地が望めます。秋には早朝、円山川周辺に霧が発生して雲海を見ることが出来る豊岡の絶景スポットの1つです。

▼城崎麦わら細工伝承館

城崎温泉の伝統的工芸品に麦わら細工があります。染めた麦わらを細く裂いて桐箱などに貼り付けた職人による格調高い作品です。館内には江戸期から現在に至るまでの麦わら細工を展示しています。



▲城崎温泉

山陰の名湯「城崎温泉」は、約1300年もの歴史を持ち、多くの文人墨客に愛されてきました。木造3階建ての旅館や土産物店が大谿川沿いに軒を連ね、柳や桜並木、太鼓橋と合わせて独特の情緒を醸し出しています。浴衣を着て下駄を鳴らしながら7つの外湯めぐりが楽しめます。



▲城崎温泉ロープウェイ

ふもとの駅から大師山の山頂駅まで(途中温泉寺駅あり)を約7分で結ぶロープウェイです。山頂からは豊かな自然に囲まれた城崎温泉街が一望できます。

▼楽々浦湾

円山川の下流から東方に突き出た湾です。湾の中には厳島神社をまつる小島が浮かび、水鳥の楽園にもなっています。また、湾の入り江の祠には鼻かけ地蔵がまつられています。



●地区のいわれ

城崎地区は、日本有数の温泉街「城崎温泉」を中心に形成され、「歴史と文学といで湯のまち」として栄えてきました。また、来日岳、円山川、楽々浦湾など、美しい自然にも恵まれ、訪れる人々に癒しのひと時を与えてくれる地域です。

●主な公共施設

・城崎総合支所(城崎地区公民館)・城崎小学校・城崎中学校・城崎大会議館・城崎文芸館・城崎スポーツ広場・菊屋島運動公園・城崎ポートセンター・城崎麦わら細工伝承館・JR城崎温泉駅・JR玄武洞駅

●行政区

・元薬師・湯の元・御所・宮本
・元・南上・南中・南下・北松ヶ崎
・南松ヶ崎・弁天・駅前・柳
・喜多・長崎・大谷・東山
・今津・桃島・内島・旭・来日
・円山・上山・簸磯・上山住宅
・二見・結・戸島・楽々浦・飯谷

城崎地区

●行政区数 31区
●人口 4,064人
男 性 1,900人
女 性 2,164人
●世帯数 1,592世帯
(平成20年3月1日現在)

12

たけのみなみ

竹野南地区

(竹野)



▲おまき桜

樹高14.5m、幹回り7m、樹齢500年(推定)。「おまき桜」という名前の由来は、ちょうどこの桜の花が満開になるころに麻(緒)の種をまいたことからそう呼ばれています(昭和54年3月、市天然記念物)。

▼桑野本の大イチョウ

樹高48.5m、幹回り7.7m、樹齢400年(推定)(平成17年3月、県重要天然記念物に指定)。このイチョウの葉がすべて落ちると、翌日には雪が降るともいわれています。



▲段の白滝

冷たく澄んだ水が、大きな一枚岩の上を力強く流れていくさまは、しばし時間を忘れさせてくれます(河床とともに昭和52年11月、市名勝に指定)。



▲狗留尊仏

古くから「蚕」の神さまとしてまつられてきた狗留尊仏の巨岩。このかけらを身につけた人が子宝に恵まれたことから現在では子宝祈願に訪れる人も増えています。

▼床瀬のそば処

澄んだ空気と清流の側で生まれるこだわりそば。100%のそばの粉につなぎの自然薯を加えた田舎そばと、地元食材を使った里の味が楽しめます。



●地区のいわれ

竹野南地区は、三椒地区と奥竹野地区を総称した呼び名です。竹野川の上流に位置し、東には日高地域に続く椒谷、西には三原高原に続く三原谷があり、2つの渓谷から成り立っています。主に農業などが盛んで、山紫水明の豊かな自然環境に恵まれた地域です。

●主な公共施設

- ・竹野南小学校・森本中学校・竹野南地区公民館
- ・森本診療所・椒地域ふるさと生きがいセンター

●行政区

- | | | |
|------|------|------|
| ・床瀬 | ・中村 | ・下村 |
| ・銅山 | ・段 | ・三原 |
| ・桑野本 | ・川南谷 | ・大森 |
| ・須野谷 | ・門谷 | ・河内 |
| ・御又 | ・小城 | ・二連原 |
| ・森本 | ・坊岡 | |

竹野南地区

- 行政区数 17区
- 人口 1,332人
- 男 性 664人
- 女 性 668人
- 世帯数 408世帯
(平成20年3月1日現在)



▲円通寺

山陰を中心に勢力を持った守護大名山名氏の菩提寺であった円通寺には、時義・時熙^{ときひろ}のものとされる墓が残っています。また、絹本淡彩月庵宗光像（昭和46年4月、県重要文化財に指定）などの文化財があります。

▼たけのこ村

（東大谷野外活動施設）

コテージ7棟のほか、キャンプ場、川遊び場、芝生広場などがある野外活動施設。澄んだ空気の中で、思いっきり自然を満喫できます。



▲中竹野ふるさと館

（中竹野小学校体育館）

中竹野地区のスポーツ・レクリエーションの交流活動拠点です。建物は、県内産の杉や檜をふんだんに使用して造られています。

おしんだに ▶鬼神谷窯跡

3基からなる須恵器の窯跡で、そのうち1基が県内で最古とされています。（平成3年3月、県史跡に指定）。出土遺物から約1500年前（古墳時代）に築かれたと考えられています。



▲蓮華寺

別名もみじ寺ともいわれる蓮華寺では、毎年10月にもみじ祭りが行われ、轟の太鼓踊り（平成12年5月、県重要無形民俗文化財に指定）などが披露されます。また、絹本著色大日如来像・愛染明王像（平成6年3月、県重要文化財に指定）などの文化財が安置されています。



●地区のいわれ

中竹野地区は、その名のとおり竹野地域の中央に位置し、竹野川が南北に貫流しています。米作りをはじめ農業が盛んな地域で、寺社や城跡など多くの文化財も多数点在しています。また、近年、竹野地域の福祉やスポーツの拠点施設が整備され、多くの地域住民が集い、にぎわっています。

●主な公共施設

・中竹野小学校・中竹野地区公民館・竹野健康福祉センター・中竹野ふるさと館・たけのこうえん・竹野多目的屋内運動広場

●行政区

はやし
・林
ひがしおあたに
・東大谷
とどろき
・轟
こまる
・小丸
すだに
・須谷
しもづか
・下塚
きんばら
・金原
おしんだに
・鬼神谷
あしだに
・芦谷

中竹野地区

●行政区数 9区
●人口 798人
男 性 381人
女 性 417人
●世帯数 235世帯
（平成20年3月1日現在）



▲はさかり岩

2つの岩の間に1つの岩がはさまっているはさかり岩(昭和43年3月、県重要名勝に指定)。実はこの3体の岩はもともとは1つの岩で、中央下部分が侵食され、中央上部が落ちてできた伝説の岩です。

▼竹野スノーケルセンター・ビジターセンター

山陰海岸国立公園内の自然情報や自然とふれあう機会を提供するために環境省によって開設された施設です。スノーケル教室や野鳥観察会などの環境学習の行事を開催するとともに、館内では国立公園の自然などをハイビジョン映像で紹介しています。



▲竹野浜海水浴場

「日本の渚百選」「日本の快水浴場百選」にも選ばれた山陰随一の海水浴場です。毎年7月末には、この海水浴場を舞台に、「たけの海上花火大会」が開催され、夏の風物詩として多くの観客を魅了します。また、夜間に渚をライトアップした「竹野浜ナイター海水浴場」も開設されています。



▲北前館

北前船の寄港地として栄えた竹野。その北前船が残した貴重な文化や風俗と、住民の手によって復元された「天神丸」などを展示しています。また、天然温泉の展望大浴場や、新鮮な魚介類を楽しめるレストランなどもあります。

▼おようじ 御用地館

歴史資料館と竹野出身の書道家・仲田光成記念館を併設した施設です。庄屋、北前船の船主として栄えた300年以上の歴史を持つ建物を当時のままに復元しています。



●地区のいわれ

竹野地区は、古来、竹野浜にある鷹野神社の「タカノ」に由来しているといわれています。日本海に注ぐ竹野川の河口に位置し、地区内には、兵庫県の最北端に位置する猫崎半島や山陰随一の海水浴場として有名な竹野浜海水浴場などがあります。漁港では、イカやカニなどが水揚げされ、その味を求めて、京阪神などからも大勢の人が訪れます。

●主な公共施設

・竹野総合支所・竹野小学校・竹野中学校・竹野地区公民館・竹野B&G海洋センター・竹野ふれあい会館・北前館・御用地館・竹野児童館・JR竹野駅

●行政区

わだ あこんだに はにゅう
・和田 ・阿金谷 ・羽入
まつもと くさかい うえちよう
・松本 ・草飼 ・上町
なかちよう ひんしちよう ば ばちよう
・中町 ・東町 ・馬場町
したちよう にしちよう えきまえ
・下町 ・西町 ・駅前
うひ たくひ きりはま
・宇日 ・田久日 ・切浜
はますい おくすい
・浜須井 ・奥須井

竹野地区

●行政区数 17区
●人口 3,287人
男 性 1,552人
女 性 1,735人
●世帯数 1,062世帯
(平成20年3月1日現在)

15

こくふ

国府地区

(日高)



▲長楽寺のチリツバキ

推定樹齢約500年のチリツバキの大木(昭和53年3月、県天然記念物に指定)。花期は3月半ばから4月末で、花ごと落ちるヤブツバキに比べて、花びらが1枚ずつ散って真紅のじゅうたんになる光景は実に見事です。



▲円山川河畔林

円山川流域最大規模の河畔林です。林内には幹周り3mを超す巨木が何本も残っています。また、近くには、約400haにも及ぶ豊岡盆地や国府平野の農地に水を供給する蓼川井堰があります。



▲植村直己ふるさと公園

紅葉寺として知られる頼光寺の裏山には、植村直己ふるさと公園があります。公園内山頂には、植村さんの墓碑と彼の高さへの挑戦をイメージしたモニュメントが天に向かってそびえ立っています。

▼円山川防災センター

備蓄倉庫をはじめ、調理室、展示コーナーなどを備えている防災拠点施設です。



▶日高東部健康福祉センター

開放感あふれる専用歩行浴コースをもつ温水プール(18m×5コース)や多彩なトレーニング機械を備えた健康スタジオ等で快適に健康づくりができます。また、デイサービスセンターも併設されています。



●地区のいわれ

国府地区は、古代但馬の行政機関である国庁・国府が所在していたことからこの名がついたといわれています。同地区は、市内有数の穀倉地帯が広がり、米作りはもちろん葉たばこなどの栽培も盛んです。また、円山川と八代川が合流する同地区は、これまで何度も水害に悩まされた地域で、近年、堤防の拡幅や内水処理施設整備など治水事業が急速に進められています。一方、冒険家・植村直己さんの生誕の地としても知られています。

●主な公共施設

・府中小学校・国府地区公民館・日高東部健康福祉センター・円山川防災センター・JR国府駅

●行政区

まつおか どい かみのごう
・松岡・土居・上郷
ふい ちば ふちゅうしん
・府市場・府中新
ほり のしょう いけがみ
・堀・野々庄・池上
にししば あげし にじ まち
・西芝・上石・虹の街
こくふ たがぬき
・国府テラス・竹貫

国府地区

●行政区数 13区
●人口 3,400人
男 性 1,649人
女 性 1,751人
●世帯数 1,075世帯
(平成20年3月1日現在)



▲八代城跡

八代城跡は、藤井左京が城主だったといわれ、城山からは国府平野が一望できます。谷区内には「城山」「屋敷」などの小字や「馬場池」などの俗称が残っています。

16

やしろ

八代地区

(日高)



▲光顕寺庭園

光顕寺には、池泉観賞式庭園があります。江戸時代末期に大庄屋の長沢蓼州と住職の寛愷法師が作庭に当たったといわれています。池の形は「心」の文字を表し、京風の地割と洗練された石組みが優美な庭園です。



▲旧大岡寺庭園

旧大岡寺に残る池泉観賞式庭園は、剛健な手法による巨石がたくさん立ち並び、特に滝部の石組みは室町時代後期の様式をそのまま保存しています（平成元年9月、国重要名勝に指定）。



◀八代っ子自然ひろば

八代っ子自然ひろばは、同区の祖父母で組織する「やしろジッパー」が平成18年10月に県のこども冒険ひろば補助事業の支援を受けて整備しました。広場には、手作りのすべり台やブランコ、竹で作った見晴らし台、ピオトープなどがあります。

▼八代ふるさと公園

八代ふるさと公園は、平成6年6月にふるさと創生事業で整備されました。近くには、金銅製の馬具や鉄刀などが発見された馬塚があります。



●地区のいわれ

八代地区は、中世の「八代庄」の名を今に引き継いでいますが、古来、八代城には8つの砦があったことなどに由来しているといわれています。同地区は、大きく2つの谷に分かれ、奈佐川と八代川の源流に位置します。豊かな自然環境に恵まれ、米作りをはじめとする農業が盛んな地域です。

●主な公共施設

・八代小学校・八代地区公民館

●行政区

・藤井
・谷
・いのつめ
・猪爪
・河江
・大岡
・奈佐路
・中
・やしろ
・八代
・こがわえ
・小河江

八代地区

●行政区数 9区
●人口 837人
男 393人
女 444人
●世帯数 249世帯
(平成20年3月1日現在)



▲久斗兵主神社のケヤキ

久斗兵主神社境内には、幹周り4.85m、樹高30mのケヤキ(昭和58年3月、市天然記念物に指定)があります。樹姿が美しく、老根が張りめぐっています。



▲但馬国分寺跡

天平13年(741年)に聖武天皇が国家安泰を願って全国に建立した但馬国分寺跡があります(平成2年12月、国重要史跡に指定)。現在は塔跡の礎石が残っています。出土品やそれに関する資料などは、但馬国府・国分寺館に展示しています。

◀治水祈念の碑

円山川赤崎橋左岸には、治水祈念の碑があります。この記念碑は、平成16年の台風23号災害で、同地で亡くなった2人の慰霊と地域住民の治水整備への願いや誓いを込めて建立されました。近くには台風時の浸水水位3.2mを示す標柱があります。



▲城山公園(宵田城跡)

垣屋氏の城跡である宵田城跡の城山公園があります。公園は桜やもみじが植栽され、遊歩道や散策路が整備されています。城山からは日高町の市街地や国府平野が一望できます。

▼進美寺

進美寺は、慶雲2年(705年)に行基上人が創建したといわれています。寺には、直径60cm、重さ48.75kgの鰐口(昭和48年3月、県重要文化財に指定)や小野時廣奉書案などの進美寺文書(昭和62年3月、県重要文化財に指定)が残っています。



●地区のいわれ

日高地区は、旧郷名である「日置郷」と「高田郷」の名に由来しているといわれています。同地区は、但馬国府と但馬国分寺の地として、当時の但馬の政治的、経済的中心の十字路に位置していました。地区内には、日高地域の主な公共施設があり、福祉、教育、文化、体育などの行事に地域住民が集い、にぎわっています。

●主な公共施設

・日高総合支所・日高小学校・静修小学校・日高東中学校・県立日高高等学校・日高地区公民館・日高健康福祉センター・日高農村環境改善センター・日高文化体育館・但馬国府・国分寺館・公立豊岡病院日高医療センター・豊岡消防署日高分署・豊岡南警察署日高警部派出所・JR 江原駅

●行政区

・江原・浅倉・久斗・夏栗・水上・日高
・宵田・赤崎・道場・杵布・山本・白置
・岩中・東構・久田・国分寺・鶴岡・白吉

日高地区

●行政区数 18区
●人口 8,049人
男 性 3,863人
女 性 4,186人
●世帯数 2,785世帯
(平成20年3月1日現在)



▲隆国寺

別名ボタン寺として有名な禅宗の古刹。三たん地方随一の山門を有し、本堂には孔雀の図などの襖36面の障壁画(昭和60年3月、県重要文化財に指定)があります。



▲阿瀬溪谷

阿瀬川の上流に大小さまざまな48の滝が点在する阿瀬溪谷。「ひょうご風景100選」にも選ばれた名所で、美しい溪谷を眺めながらのハイキングは、新緑も紅葉も楽しめます。毎年11月上旬には紅葉まつりが開催されます。

◀大わらじ・大ぞうり

田ノ口区では、1月中旬に区内の安全と区民の無病息災を願う行事「賽の神まつり」(平成5年3月、市無形民俗文化財)が行われます。長さ約1.5mの大わらじと大ぞうりが片方ずつ作製され賽の神に奉納されます。

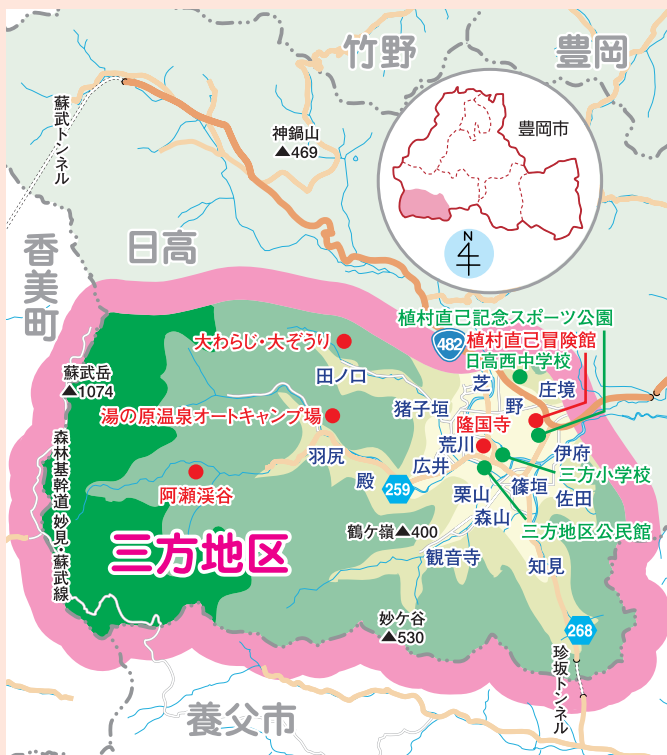


▲湯の原温泉オートキャンプ場

全国でも珍しい温泉施設を兼ね備えたオートキャンプ場。コテージなども完備し、週末になると、素朴な自然を求めて京阪神などからも多くの人を訪れます。[開場期間4月1日～11月30日(キャンプ場)～12月20日(温泉・コテージ)]

▼植村直己冒険館

日高町上郷出身の世界的冒険家・植村直己さんを顕彰する施設。装備や愛用品が数多く展示され、大画面で貴重な映像も見られます。



●地区のいわれ

三方地区は、旧郷名である「三方郷」の名を今に引き継いでいます。同地区は、別名「手のひら盆地」といわれ、5つの谷から形成されています。日高地域随一の森林を有し、阿瀬溪谷などの名所があります。また、平成20年3月には、知見区と養父市八鹿町馬瀬を結ぶ「珍坂トンネル」が開通し、地域の活性化が期待されています。

●主な公共施設

・植村直己冒険館・植村直己スポーツ公園・三方小学校・日高西中学校・三方地区公民館・湯の原温泉オートキャンプ場

●行政区

・篠垣・伊府・佐田
・知見・森山
・観音寺・栗山・殿
・羽尻・田ノ口
・広井・猪子垣
・荒川・芝・野・庄境

三方地区

●行政区数 16区
●人口 2,997人
男 性 1,479人
女 性 1,518人
●世帯数 905世帯
(平成20年3月1日現在)



▲よのき坂の桜

国道482号沿いのよのき坂の桜は、昭和30年代後半に神鍋国体スキー大会の開催に伴う道路改修終了後に植樹されたものです。清滝地区には、その他に清滝小学校の桜や山宮スキー場跡地の千本桜などが桜の名所となっています。

▼栃本の溶岩流

稲葉川の栃本の溶岩流は、溪流や奇石・滝が続き、1年を通じて、水量によりさまざまな景観を望むことができます(昭和42年3月、県重要天然記念物に指定)。



▲十戸の清水

弘法大師伝説が残る十戸地区では、三川山系や蘇武岳などに降った雨や雪が伏流水となって、豊富に湧き出ています。この清水は、飲料水だけでなく、わさび栽培やニジマスの養殖など、古くから暮らしと産業を支えてきました。



▲比曾寺庭園

明治20年、出石仙石家のお抱えの庭師だった朝山半六が作庭した池泉観賞式庭園です。また、境内にはたくさんの紅葉があり、新緑と紅葉は実に見事です。

▼神鍋高原野菜

火山活動のあった神鍋山から噴出した火山灰「黒ぼく」を利用して、キャベツやスイカなどの高原野菜が作られ、京阪神方面に出荷されています。



●地区のいわれ

清滝地区は、同地区の西に八反滝、東に十戸滝があり、その間にも二段滝、壘滝など多くの滝があることと、常に清流が溶岩の河床を洗っていることに由来しています。同地区は、豊富な清水と火山灰「黒ぼく」を利用した農業が盛んです。また、アウトドアスポーツのメッカ・神鍋高原の一角を占め、四季を通じてスキー、テニス、パラグライダーなどを楽しむため、多くの人々が集まります。

●主な公共施設

・清滝小学校・清滝地区公民館・日高西部健康福祉センター・県立但馬ドーム・特別養護老人ホームたじま荘

●行政区

・十戸
・石井
・栃本
・名色
・ころがき
・山宮
・た田
・頃垣
・やまのみや

清滝地区

●行政区数 7区
●人口 1,865人
男 性 902人
女 性 963人
●世帯数 575世帯
(平成20年3月1日現在)

20

にしき

西気地区

(日高)



▲天神社のトチノキ

マロニエ(トチノキ)の里と呼ばれている日高には、樹高30m、幹回7m、樹齢400年(推定)の栃の大木があります(平成17年3月、県重要天然記念物に指定)。

▼蘇武トンネル

平成15年11月完成。全長3,692m。国道482号のトンネルとして香美町村岡区につながっています。工事で湧き出た水が水道水として利用されています。



▶道の駅「神鍋高原」

国道482号沿いにある道の駅は、神鍋を一望できる展望スペースや、特産品の販売所、レストランなどがあります。近くには、「 kannabe湯の森ゆとろぎ」があり、さまざまなデザインや種類の温泉が楽しめます。



▲奥神鍋ゲレンデ

昭和26年、神鍋の奥座敷としてオープン。神鍋のゲレンデで最も標高が高く、神鍋一の最長滑降コースである3.1kmのロングランコースを有します。

◀神鍋高原

約2万年前に火山活動のあった標高469mの神鍋山を中心にした高原です。周囲を1,000m級の山々に囲まれ四季折々の豊かな表情を見せます。



●地区のいわれ

西気地区は、明治29年まで気多郡に属し、その郡の西部にあったことから「西の下」と呼ばれていました。同地区にはアウトドアスポーツのメッカの神鍋高原があり、四季を通じてスキー、テニス、ゴルフ、パラグライダーなどを楽しむため多くの人々が集まります。また、火山活動のあった神鍋山から噴出した火山灰「黒ぼく」を利用して、野菜づくりが盛んに行われ、キャベツやスイカなどが京阪神に出荷されています。

●主な公共施設

- ・西気小学校・西気地区公民館・日高町観光協会
- ・神鍋診療所・ kannabe湯の森「ゆとろぎ」

●行政区

- まんば 万場
- まんごう 万劫
- ひがしごうち 東河内
- くりすの 栗栖野
- いなんば 稲葉
- やまた 山田
- みのくち 水口

西気地区

- 行政区数 7区
- 人口 988人
- 男 468人
- 女 520人
- 世帯数 285世帯
(平成20年3月1日現在)

21

こうどう

弘道地区

(出石)



▲辰鼓楼

明治4年に旧三の丸大手門脇の櫓台に建設された辰鼓楼(昭和44年6月、市指定史跡)。当時は1時間ごとに太鼓で時(辰)を告げました。明治14年に池口忠恕が大時計を寄贈してからは、時計台として親しまれ、時を刻み続けています。



▲喧嘩だんじり

10月15日直前の日曜日、豊作を感謝して秋まつりが行われます。「喧嘩だんじり」とも呼ばれるだんじり同士の激しいぶつかり合いは迫力満点です。

◆出石皿そば

宝永3年(1706)、信州上田から仙石氏とともに来たそば職人の技法が、在来のそば打ちの技術に加えられ誕生しました。その後、出石焼の小皿に盛る様式が確立され、今では約50軒ものそば屋が並ぶ日本屈指のそば処として知られています。



▲出石城跡

慶長9年(1604)、小出吉英が築いた出石城。昭和43年、本丸跡に隅櫓が復元されました(昭和43年3月、市指定史跡)。石段を登り、朱の鳥居をくぐって稻荷神社から城下を見下ろせば、まるで江戸時代を思わせる城下町ならではの町並みが広がります。

▼出石伝統的建造物群保存地区

古い建物が残っている町内の見所を、粋な格好の車夫が説明しながら回ってくれます(平成19年12月、国重要伝統的建造物群保存地区に選定)。



●地区のいわれ

弘道地区には、安永4年(1775年)、藩主であった仙石政辰が藩士に文武を奨励するために創設した藩校「弘道館」(材木区)があり、数多くの士を輩出した地域です。出石の中央部に位置し、城下町とそば処として有名で多くの観光客が訪れます。

●主な公共施設

・出石総合支所(弘道地区公民館)・弘道小学校・出石中学校・県立出石高等学校・伊藤清永美術館・出石史料館・出石明治館・出石家老屋敷・出石武家長屋資料館・加藤弘之生家・豊岡南警察署出石警部派出所・出石児童館

●行政区

谷山・下谷・材木・魚屋
・東條・寺町・内町・八木
・本町・宵田・田結庄・小人
・柳・川原・松枝・弘原

弘道地区

●行政区数 16区
●人口 4,194人
男 性 2,021人
女 性 2,173人
●世帯数 1,500世帯
(平成20年3月1日現在)

22

すげだに

菅谷地区

(出石)

◀ 福見観音寺ため池



約60年前に人力のみで造られたため池です。昭和51年に改修され、約10万トンを貯水できます。菅谷や室見台の水田約40haの水源となっています。

▶ 須義神社のご神木



寛永元年（1704年）4月に建立されたとされる須義神社（本殿は市指定文化財）の境内には、ご神木として大切にされている巨大な杉があります。樹齢は推定約400～500年です。

▲ 鶴山（鶴山の松の木に巣をつくるコウノトリ）

天保年間に出石藩主の仙石久利が鶴（コウノトリ）が巣を作る山として命名し、長く禁猟区として保護されてきました。明治後期には、瑞鳥ブームが巻き起こり、山には茶店ができ多くの人々にぎわいました。

出石藩出身の多田弥太郎は、尊皇攘夷派の有志、また、西洋砲術などの技術を伝授した人として知られています。39歳の時、生野の変に加わったことにより藩役人に浅間峠で刺殺され、その地に石碑が建てられました。昭和61年11月には、有志により顕彰碑が浅間トンネル入口に移転されました。

弘法大師伝説にまつわる不思議な湧き水で、これまで干ばつが続いても枯れることがなかったといわれています。

▶ しみずけの水



▼ 多田弥太郎の顕彰碑



● 地区のいわれ

菅谷地区は、中世に菅庄の荘園があったことからこの名がついたといわれています。地区内には、出石と養父市八鹿町を結ぶ県道に沿って菅川が流れ、下流域には水田が広がっています。近年、宅地分譲の整備や浅間トンネルの改良などが行われ、地域の基盤が整いつつあります。

● 主な公共施設

・菅谷地区公民館（高齢者生活支援センター）

● 行政区

ほそみ
・細見
・荒木
・平田
・福見
・暮坂

菅谷地区

●行政区数 5区
●人口 772人
男 性 385人
女 性 387人
●世帯数 233世帯
(平成20年3月1日現在)

23

ふくすみ

福住地区

(出石)



▲斎藤隆夫記念館「静思堂」

出石町中村出身で軍国主義に屈しなかった「憲政の神様」と呼ばれる政治家 斎藤隆夫の記念館です。この建物は斎藤隆夫顕彰会により、昭和58年、訪れる方々が静かに思いをめぐらせる空間として建てられました。



◀夢みせ地蔵

地蔵寺には、夢みせ地蔵と呼ばれる地蔵があります。この地蔵は約10cmの小さな木彫りで、山の中に置いてあるから迎えに来てほしいと人に夢みせをし、実際に探してみると本当に小さな地蔵があったとのいわれがあります。



▲愛宕の火祭り

七年山中腹（伊福部神社境内）には、愛宕神社があります。同神社では毎年8月24日ごろに、小麦わらを荒縄で束ね、それに火をつけて頭上で回し、厄除けや無病息災などを願う火振りが行われます。



▲まぼろしの滝

椿谷には「まぼろしの滝」と呼ばれる滝があります。滝の高さは約13mで、まさに秘境といえる景観の滝です。

▼出石温泉館「乙女の湯」

切妻屋根の建物で、茶色の外壁が特徴のまさに城下町出石らしい温泉館です。広めの和風庭園の中に露天風呂があり、四季折々の眺めも風情たっぷりです。温泉はなめらかな肌触りと保温性の高さが自慢の美人の湯です。



●地区のいわれ

福住地区は、福が住むような村でありたいと命名された福住村から由来しているといわれています。同地区は、出石地域の南側に位置し、西床尾山のふもと、奥山川や出石川などが流れ、自然に囲まれた地域です。また、地区内には、出石地域の医療・福祉・スポーツ施設や温泉施設があり、地域住民が集い、にぎわっています。

●主な公共施設

・福住小学校・福住地区公民館・出石健康福祉センター・公立豊岡病院出石医療センター・出石B&G海洋センター・出石総合スポーツセンター・出石多目的屋内運動場・出石温泉館「乙女の湯」

●行政区

・鍛冶屋
・中村
・榎見
・奥山
・上野

・福住
・坪口
・和屋
・百合

福住地区

●行政区数 9区
●人口 1,609人
男 性 791人
女 性 818人
●世帯数 509世帯
(平成20年3月1日現在)



▲伝聖観音坐像

高さ33cmの小さな仏像があります。平安初期に造られたといわれる但馬最古の一木彫の木像仏で、その個性的な作風は類例もほとんどありません(平成16年3月、県重要文化財に指定)。

▼お相撲さんの墓

お相撲さんの墓があります。昔、大洪水があったときにお相撲さんの死体が川上から流れてきて、村人たちが墓を造り供養したといわれています。また、お相撲さんは関取なので、験を担いで、咳を取ってもらうようお参りをする人もあったそうです。



▲東床尾山の小滝

標高839mの東床尾山があり、桐野区側から登ると大滝や小滝と呼ばれるいくつかの滝を見ることができます。特に小滝は別名「殿様の滝」と呼ばれ、その美しい姿は殿様にも愛されたといわれています。



▲御出石神社本殿

天日槍をまつる御出石神社があります(本殿は昭和58年3月、市文化財に指定)。男神として知られ、毎年10月15日前後に行われる秋祭りでは、お神輿が宵宮に女神として知られる貴船神社に泊まる神事が現在も続いています。

▼ゆうれん橋(コケ山橋)

「ゆうれん橋」という民話が伝わるコケ山橋があります。昔、酒好きな徳兵衛が、毎晩のように鯉山峠を越えて出石の城下まで酒を飲みに出かけるため、奥さんがこの橋の下から幽霊の格好をして脅かして酒を飲みに行くのをやめさせたという民話です。



●地区のいわれ

寺坂地区は、旧村名である「寺坂村」の名前を今に引き継いでいます。同地区は、東が但東地域に隣接し、国道426号に沿って出石川が流れています。東床尾山や有子山などに囲まれ、自然環境に恵まれた地区で、主に米作りが盛んに行われています。

●主な公共施設

・寺坂小学校・寺坂地区公民館・豊岡消防署
出石分署

●行政区

なかの
・中野
ひのべ
・日野辺
きりの
・桐野
てらさか
・寺坂

寺坂地区

●行政区数 4区
●人口 682人
男 性 316人
女 性 366人
●世帯数 213世帯
(平成20年3月1日現在)

25

おさか

小坂地区

(出石)



▲片間ふれあい農園

片間区の見晴らしの良い広陵地にある小果樹を中心とした約1.5haの農園です。園地には約700本のブルーベリーやユスラウメなどの小果樹や約3,000株のラベンダーが栽培されています。

▼鳥居やすらぎ市民農園

平成16年の台風23号で被害を受けた鳥居区には、災害から復興している姿を全国の支援者に伝えるため、農業体験や都市の人々との交流を通し、やすらぎの場を創出するため農園が整備されています。



▲こぶしの里

小坂地区の山にはたくさんのこぶしが自生し、春には白い花を咲かせるため、「こぶしの里」と呼ばれています。同地区では、昔、こぶしの花が咲くと野菜などの種をまき、こぶしの開花を目印に農作業を営んでいました。

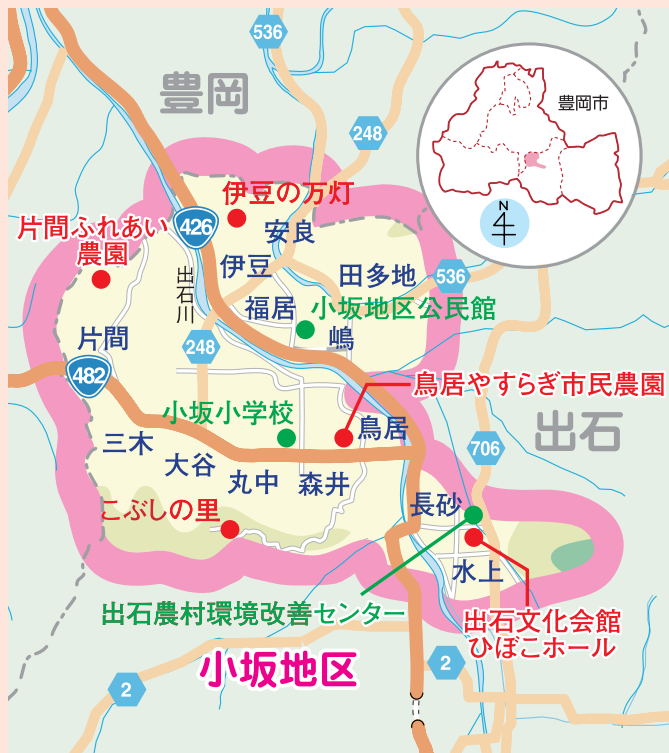


▲出石文化会館ひぼこホール

愛称の「ひぼこホール」は、古来、新羅の国から渡来し、この但馬を切り拓いた天日槍伝説に由来しています。このユニークな外観は、古代の矛と盾をイメージしたものです。大ホールの客席は490席あり、市民の文化活動の場となっています。

▶伊豆の万灯

昔、甚五郎という人物が伊豆区を水害から守るため、藩令を犯して堰を切り、処刑されてしまいました。同区では、義民である甚五郎を供養するため、毎年8月14日と15日の夜に万灯を灯して霊を慰めています。



●地区のいわれ

小坂地区は、往古、田と坂が一連しているありさまを称美して「小坂」と称したといわれています。この地区は出石川の下流に位置し、水田が広がり米作りなどの農業が盛んで、年間を通して、さまざまな野鳥が飛来する自然に恵まれた地域です。また、国道426号と国道482号が通り交通の要衝となっています。プロ野球阪神タイガースの能見篤史投手の出身地としても有名です。

●主な公共施設

・小坂小学校・出石文化会館ひぼこホール・出石農村環境改善センター・小坂地区公民館

●行政区

水上・長砂・鳥居
森井・丸中・大谷
三木・片間・伊豆
福居・嶋・田多地
安良

小坂地区

●行政区数 13区
●人口 2,204人
男 1,073人
女 1,131人
●世帯数 659世帯
(平成20年3月1日現在)

26

お の

小野地区

(出石)



▲旬彩館

毎週土曜日の朝6時から正午まで朝市が開かれます。地区特産の「小野芋」と呼ばれる粘り強く煮崩れない里芋などの新鮮な農産物が販売されます。

▼出石川防災センター・いずし古代学習館

防災センターは災害時の防災基地として、防災事業の取組みなどが紹介されています。また同施設内の古代学習館は石棺や土器などが展示され、古代からの出石の歴史を学び、体験することができます。



▲出石神社

但馬一の宮神社として但馬開拓の祖神、天日槍と八種の宝が祭られています。境内では毎年5月5日の節句に子どもの元気な成長を願い、のほり幟まわし(平成6年6月市無形民俗文化財)が行われます。



▲はすまつり

毎年7月中旬に開催されるはすまつり。約3千㎡の休耕田に鮮やかな色の花が咲き誇ります。花が開くときには「ボン」と音がするとか…。はすの鉢苗などの販売も行われます。

▼白糸の滝

ひょうご森林浴50選に指定されており、白糸を流したような美しい姿が訪れる人の心を魅了します(昭和53年3月、市指定名勝)。



●地区のいわれ

小野地区は、同地区にあったとされる荘園「小野庄」の名に由来しているといわれています。同地区には、天日槍伝説や飛鳥から平安時代の役所跡と考えられる袴狭遺跡、室町時代に築城されたとされる比隣山城跡などが残っています。自然環境に恵まれ、主に農業などが盛んな地域です。東には但東地域につながるいずたんトンネル、西には豊岡地域につながる神美トンネルがあり、交通の要衝となっています。

●主な公共施設

・小野小学校・出石川防災センター・いずし古代学習館(小野地区公民館)

●行政区

・宮内
・袴狭
・小野
・奥小野

小野地区

●行政区数 4区
●人口 1,406人
男 性 669人
女 性 737人
●世帯数 407世帯
(平成20年3月1日現在)



▲日本・モンゴル民族博物館

但東と交流が盛んなモンゴルの文化や暮らしを紹介する博物館。移動式住居「ゲル」や狩猟道具、楽器など数千点を展示。民族衣装の試着もできます。

▼農家民宿

市内には5軒の農家民宿があり、その内3軒が資母地区にあります。昔ながらの田舎の雰囲気に触れながら、田舎料理・どぶろくなどの食事やそば打ち・豆腐作りなどの体験ができる宿泊施設です。囲炉裏を囲んでゆっくりと田舎の味が楽しめます。



▲子午線公園・子午線塔

日本標準時制定100周年を記念して造られた子午線公園には、「太陽の塔」と名付けられた三角形のモニュメントがあり、日時計の機能を備えています。近くには日本標準時制定75周年を記念して建設された東経135度と北緯35度30分を示した子午線塔があります。

◀チューリップ畑・ひまわり園

毎年4月には、たんとうチューリップまつりが開催され、チューリップで描かれたフラワーアートは大人気で多くの方が訪れます。また、8月にはこの畑はひまわり園に模様替えします。【写真:コウノトリ(平成19年)】



▶赤花そばの郷

赤花そばは地元で栽培・収穫したそばの実を使って作られ、つなぎを一切使用しないそば粉100%のそばです。そば独特の風味が豊かで、抜群の舌触り、コシの強さが人気のヒミツです。予約をすればそば打ち体験もできます。



●地区のいわれ

資母地区は、わが国最初の漢和辞書である「和名抄」に出てくる出石郡の郷名の一つとして記録され、「下」と呼ばれていました。平安時代の役所跡と考えられる出石の袴狭遺跡からは「資母」と書かれた土器が出土しています。同地区は、江戸時代後期から伝統ある絹織物「但馬ちりめん」の産地として盛えてきました。また、豊かな自然環境に恵まれた地区には、福寿の水や志水柿の水などの名水や、多くの神社や寺などが残っています。

●主な公共施設

・資母小学校・資母地区公民館・資母体育館・日本・モンゴル民族博物館・資母診療所

●行政区

・如布・赤野・虫生・坂野
・口藤・中藤・奥藤・奥赤
・赤花・坂津・畑山・日向
・東里・木村・太田
・西野々・高龍寺

資母地区

●行政区数 17区
●人口 2,121人
男 性 1,013人
女 性 1,108人
●世帯数 727世帯
(平成20年3月1日現在)



▲ドウダンツツジ・夏つばき

安国寺の裏山には、樹齢100年を超えるドウダンツツジがあります。毎年11月中旬には、紅葉の見ごろを迎えます。また、7月上旬には、近くの安国寺公園に群生する夏つばきが純白の花を咲かせます。

▼但馬天満宮

但馬天満宮は、平安時代に菅原道真の一族が道真を祭神として建立したと伝えられています。毎年2月初旬の学業成就合格祈願祭には、ジャンボ絵馬が奉納され、受験生は、「五角の門」をくぐり合格を祈願します。



▲清竜の滝

清竜の滝には、昔、雨乞いをしたときに滝の奥の谷から青い竜が現れ雨を降らせたという伝説があり、別名「青竜の滝」とも呼ばれています(昭和51年3月、市天然記念物)。

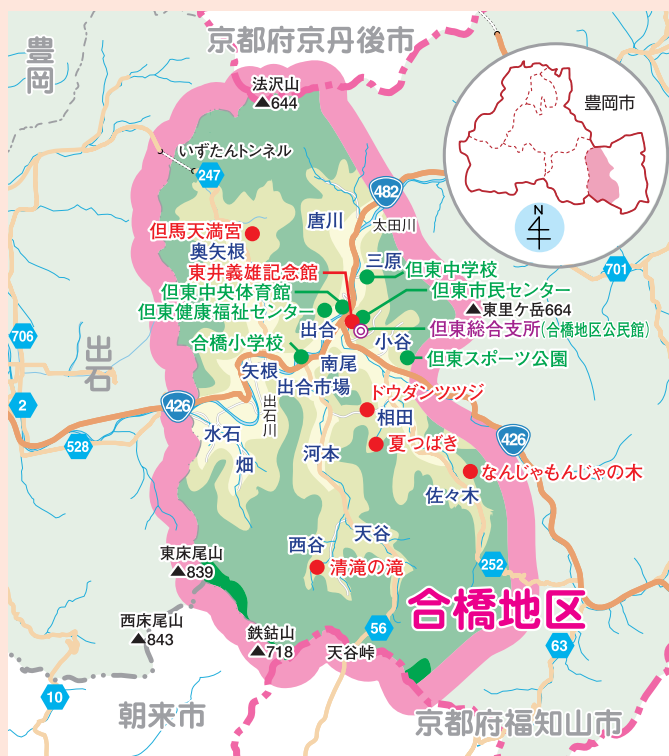


▲なんじゃもんじゃの木

佐々伎神社には、なんじゃもんじゃの木(クスノキ科)があります。珍しい樹種に「なんちゅうもんじゃろう」ということから名付けられ、この木をなでると幸運が舞い込んでくるといわれています。

▼東井義雄記念館

但東町佐々木出身で日本のペスタロッツと呼ばれ、「いのちの教育」を実践した教育者 東井義雄の記念館。蔵書3,850冊を備え、数々の遺墨や遺品などを展示しています。



●地区のいわれ

合橋地区は、明治22年の町村制で誕生した合橋村(旧郷名である出合郷と高橋郷を組み合わせた村名)を継承しています。同地区は但東の西側に位置し、中央を流れる出石川には、佐々木川、太田川、河本川、奥矢根川などが合流し、豊かな水に恵まれた地域です。また、地区内には、但東地域の主な公共施設があり、福祉、教育、文化、体育などの行事に地域住民が集い、にぎわっています。

●主な公共施設

・但東総合支所(合橋地区公民館)・合橋小学校・但東中学校・但東市民センター・東井義雄記念館・但東健康福祉センター・但東中央体育館・但東スポーツ公園

●行政区

みずし はた や ね
・水石 ・畑 ・矢根
・奥矢根 ・出合市場
・河本 ・西谷 ・天谷
・佐々木 ・相田
・小谷 ・南尾 ・出合
・三原 ・唐川

合橋地区

●行政区数 15区
●人口 2,041人
男 性 998人
女 性 1,043人
●世帯数 665世帯
(平成20年3月1日現在)



▲但東シルク温泉館

但東シルク温泉館は、モンゴルの住居「ゲル」をイメージして造られた温泉施設です。地下約1,100mから湧き出る天然温泉で、高成分な重曹泉の源泉を2つもち、肌がツルツル、スベスベになる温泉です。横続きで宿泊施設「やまびこ」があります。

▼木造薬師如来坐像

松禅寺の境内には、高さ1.22mの木造薬師如来坐像がまつられています(昭和46年4月、県重要文化財に指定)。平安時代後期の作で、彫りの浅い、穏やかで優雅な定朝様式の典型といわれています。



▲一宮神社のケヤキの森

一宮神社境内には、ケヤキなどの群生林があります(昭和61年3月、県重要文化財に指定)。9本のケヤキとムクノキやイチヨウなどの大木からなる群生林で、なかでも樹高35mにもなる推定樹齢500年の巨大なケヤキは圧巻です。また、境内には、大兵庫満州開拓団殉難碑が建立されています。

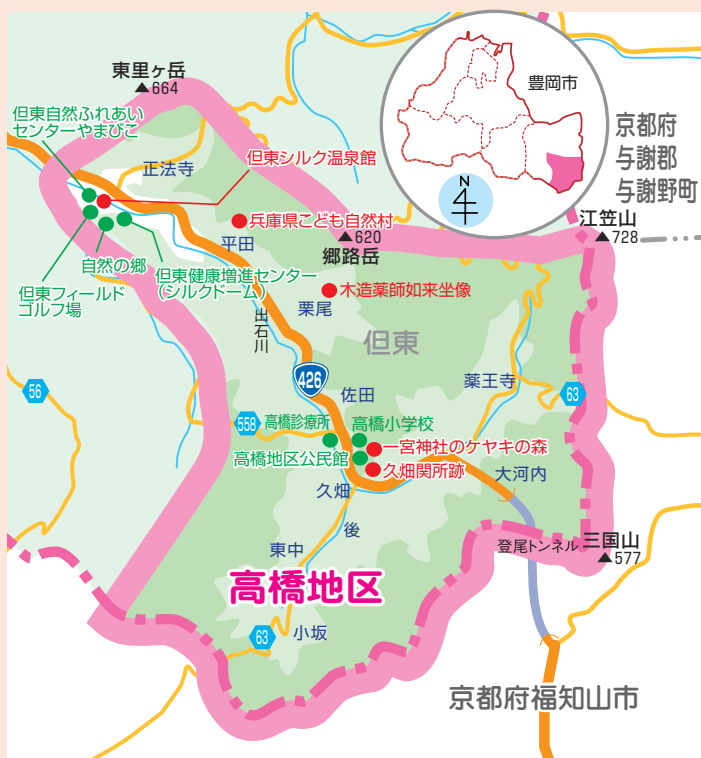


▲兵庫県子ども自然村

昭和58年に開設された兵庫県子ども自然村があります。子どもたち自身が中心となって活動するキャンプ場として、夏休みには全国からたくさんのお子どもたちが訪れ野外活動を体験します。

▼久畑関所跡

久畑関所跡があります(昭和51年3月、市史跡)。幕末、桂 小五郎がこの関所で身分を見破られそうになったといわれています。また宿場町としてもにぎわっていました。関所跡を示す4塔の石碑の近くには、約600mの石畳が整備されています。



●地区のいわれ

高橋地区は、旧郷名である「高橋郷」の名を今に引き継いでいます。同地区は、出石川の上流に位置し、平成16年の台風23号の災害復旧では、数百頭のオオサンショウウオが生息していることが確認されました。また、国道426号が通り、登尾トンネルを経て京都と結ばれ、交通の要衝となっています。

●主な公共施設

・高橋小学校・高橋地区公民館・高橋診療所
・但東健康増進センター(シルクドーム)・但東自然ふれあいセンターやまびこ・但東シルク温泉館・自然の郷・但東フィールドゴルフ場

●行政区

しょうぼうし
・正法寺
くろお
・栗尾
くばた
・久畑
ひがしなか
・東中
おおこうち
・大河内

ひらた
・平田
さだ
・佐田
うしろ
・後
こざこ
・小坂
やくおうじ
・薬王寺

高橋地区

●行政区数 10区
●人口 1,133人
男 544人
女 589人
●世帯数 382世帯
(平成20年3月1日現在)

豊岡市歌

作詞 尾崎龍
作曲 岩河三郎

一

霧のとばりの
円山川の
岸辺に移ろう
山並鳥かげ
（舟唄きこえる）
（但馬まほろば）

二

緑萌えでる
大空へ
舞い上がる
（いのちかがやき）
（但馬まほろば）

三

街と町との
花の香りの
雪の便りも
季節を告げる
（いのち美し）
（但馬まほろば）

二
回

（平成 20 年 3 月 29 日制定）

市の鳥「コウノトリ」



市の両生類「オオサンショウウオ」



市の石「玄武岩」



（平成 19 年 12 月 21 日制定）

豊岡の宝探し

発行年月日／平成20年(2008)3月

発行／兵庫県豊岡市

〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町2-4

TEL.0796-23-1111 FAX.0796-24-2575

URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

E-mail info@city.toyooka.lg.jp



「豊岡の宝探し」は、資源保護のため環境に優しいソイ(大豆油)インキで印刷しています。